

土から始まる 美術表現

もう一度、芸術大学で学ぶ

大人のための美術講座

土は、人類がもっとも早くに出会った表現素材のひとつです。掘り出され、砕かれ、練られ、焼かれ、壁となり、絵具となり、器となって、長い時間をかけて世界各地の美術表現を支えてきました。

その起源は先史時代の洞窟壁画にさかのぼり、アジアでは仏教美術とともに壁画技法が発展し、西洋ではフレスコ画として建築と一体化した絵画表現が生まれました。

また、日本では陶磁器として暮らしと結びつき、用と美が交差する文化を育んできました。

本講座では、土を軸に東西の技法・材料・歴史を専門家が解説し、美術の原点を見つめ直します。

第1回 5/25(月)	アジアの壁画 仏国土を示現する	京都市立芸術大学 准教授 正垣雅子
第2回 6/15(月)	フレスコ画 壁に刻まれた西洋美術	愛知県立芸術大学文化財保存修復研究所 研究員 成田朱美
第3回 6/22(月)	土の絵具 色彩はどこから来たのか	愛知県立芸術大学文化財保存修復研究所 研究員 中神敬子
第4回 6/29(月)	瀬戸の土 陶土と土地の記憶	愛知県陶磁美術館 陶芸指導員 岩淵寛

- ・場所 愛知県立芸術大学
- ・時間 12:50～14:20 (90分)
- ・定員 1講座 30名 要事前申込み

- ・受講料 1講座 2500円 (複数受講可)
- ・申込期間 4月13日～5月11日 (先着順)

申込みはこちら



- ・お好みの講座を選んでご受講いただけます (複数受講可)。
- ・申込受付後、お支払方法をご案内します。
- ・お支払頂いた受講料は参加有無にかかわらず払い戻しや返金できません。ご予約をよくご確認の上、お申し込みください。
- ・受講料の入金確認をもって申込完了とします。

予告 2026年度 秋期リカレント定期講座

原始の絵画体験 (実習)

-土を絵具にして描く-

- ・期間 9月～12月 (全4回 日程未定、月曜開催)
- ・場所 愛知県立芸術大学文化財保存修復研究所
- ・参加資格 4回全て受講できる方 (制作工程管理のため)
- ・時間 13:30～15:30 (120分)
- ・定員 15名

※ 申込み時期は現在調整中です。決まり次第大学Webサイトに掲載いたします。

問合せ

愛知県立芸術大学 芸術情報・広報課

☎ 0561-76-2873

〒480-1194 愛知県長久手市岩作三ヶ峯 1-114

(受付時間 平日 9:00～17:30)

メール :geijo@mail.aichi-fam-u.ac.jp

アクセス

◆名古屋方面から

市営地下鉄東山線終点「藤が丘」駅下車、東部丘陵線(リニモ)に乗り換え「芸大通」駅下車、徒歩約10分

◆豊田・瀬戸方面から

愛知環状鉄道「八草」駅下車、東部丘陵線(リニモ)に乗り換え「芸大通」駅下車、徒歩約10分



※ 駐車場の数に限りがありますので、公共交通機関の利用にご協力ください。